



# 議会だより

〒299-2192 千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3458  
議会事務局 TEL 0470-55-4804

第 104 号



平成 2 5 年度 鋸南幼稚園入園式

は  
や  
わ  
か  
り

3 月定例議会		
汚染土壌処理施設設置計画反対の請願を可決	2～3	ページ
補正予算		
都市交流施設整備実施計画の委託費計上	3～4	ページ
一般質問		
三国・緒方・鈴木・小藤田の 4 議員	5～7	ページ
予算審査特別委員会		
保田小跡地を都市交流施設に活用	8～9	ページ
裏表紙		
佐久間ダム湖の桜だより	10	ページ

3月議会

## 汚染土壌処理施設設置計画

# 反対の請願を可決



鋸南町表彰式

3月定例議会は、会期を5日から14日の10日間として開催した。議案は議員発議案3件。町長提出議案は条例の一部改正等12件。予算関係については、年度最終となる補正予算6件、25年度当初予算6件。汚染土壌処理施設設置に反対する請願1件や、その他町道の路線変更及び認定など3件の合計31件。新年度予算については、予算審査特別委員会を設置し審査した。また、一般質問は、三国・緒方・鈴木・小藤田の4議員が質問席に立った。

「鋸南町の環境と子どもを守る会」より提出された請願が、請願第1号「鋸南開発株の汚染土壌処理施設設置計画について反対を求める請願について」として議会定例会2日目に上程された。

請願は紹介議員への質疑の後、3名の議員が反対討

論、3名の議員が賛成討論を行なった。その後、直ちに採決を行い賛成多数で可決した。

また、請願第1号の可決に伴い、最終日に発議案第2号「鋸南開発株の汚染土壌処理施設設置計画につい

て反対する意見書(案)について」が上程され、提出者への質疑の後、2名の議員による賛成討論が行われ、賛成多数により可決した。

これにより、千葉県知事に対し意見書を提出する。

## 小学校跡地等利用検討 特別委員会を設置

平成26年4月に統合となる保田小学校及び旧佐久間小学校跡地は、町にとって大切な財産である。そのため、今後の活用について総合的に考え、議論する場が必要として「小学校跡地等利用検討特別委員会」の設置を発議案として上程し、

全員賛成で可決、設置した。

議員・町3役・職員  
報酬・給料削減を継続

まだまだ厳しい財政状況や景気の状態を勘案し、議員発議案として議員報酬の10%削減を引き続き1年間

延長する条例改正案を上程し、全員賛成で可決した。

また、町3役及び一般職員の給料についても、昨年同様の削減を継続する条例改正案が上程され、全員賛成で可決した。

25年度当初予算については、黒川大司予算審査特別委員長の報告を受け、討論・採決を行った後、全予算について全員賛成で可決した。

なお、追加議案として現副町長の川名吾一氏を選任する議案が提出され、全員賛成で再任に同意した。

功労・善行等で  
議場で表彰式

鋸南町表彰式が3月5日議場で行われ、功労表彰者6名、善行表彰者3名の方に対して、町長から表彰状が授与された。

### 一般会計補正予算

歳入歳出ともに、4億4,782万4千円を増額し、総額は45億4,646万2千円となりました。

主な歳出は、都市交流施設整備実施計画策定委託費700万円、道路舗装繕繕事業費8,610万円、勝山小学校管理特別教室棟改築事業費3億5,399万4,000円の増額及び、広域市町村圏事務組合負担金1,571万6千円、障害者自立支援医療費694万7千円、住宅取得奨励金1,380万円、防災行政無線固定系更新工事363万2千円、歴史民俗資料館美術品購入費300万、道路災害復旧工事・漁港施設災害復旧工事費471万1千円の減額。

主な歳入は、町税1,179万3千円、教育施設等整備基金繰入金1億216万7千円、国庫補助金1億6,855万2千円、町債1億6,960万円の増額及び財政調整基金繰入金746万6千円の減額。

### 国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出ともに、2,420万6千円を増額し、総額は12億9,334万8千円となりました。

主な歳出は、高額医療費拠出金・保険財政共同安定化事業拠出金735万2千円の減額及び財政調整基金積立金2,176万4千円の増額。

主な歳入は、高額医療費共同事業交付金・保険財政共同安定化事業交付金1,979万4千円、財政調整基金繰入金2,976万5千円の増額。

### 介護保険特別会計補正予算

歳入歳出ともに、5,399万3千円を増額し、総額は11億4,309万6千円となりました。

主な歳出は、居宅介護サービス等給付費2,761万7千円の増額。

主な歳入は、国庫支出金1,299万9千円の増額。

### 水道事業会計補正予算

収益的収入では、総合対策県補助金103万5千円、原発事故損害賠償金55万1千円の増額。

資本的収入では、加入者分担金204万8千円、企業債50万円の減額。

## 定例会の 主な質疑

**質問** 国に先駆け鋸南町も給与削減を実施し、財政的にも明るさが見えてきた。しかし、国家公務員は7%を超える給与削減を実施している。国や交付税等の整合性をどのように考えているのか。

**総務企画課長** 国は、昨年の交付税総額から地方負担の給与分を削減するという措置を取っています。また地方も国に準じた形で給与の削減を求められていますので、今後は国の指導の中で検討します。

**質問** 地方紙にラスパイルス指数が載っていたが、鋸南町は近隣の中では一番低かった。その数字は正確か。

**総務企画課長** 国の給与削減を基準とした際の指数は、鋸南町の場合104.3%。参考数値として、国が給与削減をしなかった場合は96.3%になります。

**質問** 地方紙にラスパイルス指数が載っていたが、鋸南町は近隣の中では一番低かった。その数字は正確か。

**総務企画課長** 国の給与削減を基準とした際の指数は、鋸南町の場合104.3%。参考数値として、国が給与削減をしなかった場合は96.3%になります。

**質問** 環境衛生組合と浄化槽の保守契約をそのままにしている世帯は現在どのくらい残っているのか。

**総務企画課長** 世帯数が少ない区では年間で約600円増額。世帯数の多い区では年額約900円減額となります。

**総務企画課長** 鋸南地区全体で約700件と伺っています。

# 都市交流施設整備

## 実施計画の委託費計上

平成24年度一般会計の補正予算は、4億4782万4千円を追加し、補正後の総額は4億4646万2千円となった。都市交流施設整備実施計画策定委託費は、事業の実施計画を委託するもので、25年度に繰越して実施する。

### 補正予算の主な質疑

**質問** 民俗資料館の備品購入費300万円が支出されていない。良い美術品を集めていただきたいと思うが購入予定があったのか。

**教育課長** 美術品取得基金を有効活用できるよう、毎年備品購入予算を計上し、常に目を光らせていますが24年度は購入できるものがありました。

**質問** 土木費の委託料228万3千円は、路面性状調査委託と、道路点検業務委託に分かれているが内容は、

**地域振興課長** 路面性状調査委託については、路面の

ひび割れ、わだちによる掘れ等の状況を調査するものです。道路点検業務委託は、道路のトンネルの落下事故防止のための目視による調査を実施するものです。

**質問** 循環バス運行業務は110万円の修繕料の増額ということだが、現車両はどの程度もつのか。

**総務企画課長** 青バスについてはエンジンの経年劣化により91万円の修繕料となつています。赤バスは、乗降時のオートステップの制

御コントロールの修繕で17万4千円です。バスの耐用年数は、正確には把握できていませんが、あと4・5年は大丈夫だと考えています。

**質問** 土木総務費の補助金と奨励金は合計で1460万円減額しているが、その理由は。

**地域振興課長** 内訳としては、住宅耐震診断補助金が80万円、住宅取得奨励金が1380万円の減額で、共に実績に伴う減額です。奨励金については、予算計上時には35件見込みでしたが、27件の確認申請の内17件の補助を見込んでいます。

**要望** 循環バスは乗客数が少ない時もある。もう少し小さくする方がよいのでは。また、住宅取得奨励金については使い勝手が悪いという声がある。申請方法の検討や周知をしてほしい。

**質問** 都市交流施設の設計委託費700万円については、協議会において「こういう施設は淘汰の時代に入

っている」という意見があった。特徴あるものを考えていくということだが、現段階での考えは。

**総務企画課長** 現段階で考えている基本機能は、産直所やカフェレストランです。また、今後の課題でもある

特色を出していくアイディア等については、コンサルタントに提言していますので、実施計画の段階で具体的な協議や説明を行いたいと思つています。

**質問** 都市交流施設の設計委託費と交付金との関係は。

**総務企画課長** 財政状況等を勘案した時に有利な補助金・交付金を探してくるのは町の仕事ですが、国と事前で協議を行う中で、国の緊急経済対策について、24年度の補助金・交付金の枠が

増えたことにより、25年度の予算額が減るというアドバースを受けた経緯があります。そのため、急遽ではありますが、活性化プロジェクトの計画を提出させていただき、今回の補正に計上しました。

**要望** 方向性が決まればできるだけ協力していくが、良い案が出るよう努力してほしい。



平成26年4月に統合となる保田小学校

# ここがききたい



# いっぱん

# 質問

## 汚染土壌処理計画

## 町長ははっきりした態度表明を



三国 幸次 議員

**質問** 鋸南開発の汚染土壌処理施設設置計画について、地元住民の圧倒的多数の反対の声をどう受け止めているのか。

**町長** 昨年の9月30日に署名を受け取った際、「町長として、皆さんの声を重く受け止めたい」と言いました。「計画に対し多くの住民の方の反対がある、そのことは承知した」ということです。また、事業の許可権者である千葉県には、地域の皆様の思いをしっかりとお伝えしました。

**質問** 汚染土壌処理施設設置計画がわかってからもう丸1年たっている。町民の関心も高まって、反対署名も進み、この議会には請願も出された。こういう状況で、首長も政治家として、もう少しはっきりした態度表明ができないか。

**町長** 議会の中でも、賛成・反対の意見があるなかで、輕輕に私が「賛成である」「反対である」という表明はできない状況であろうと思います。また、議会の皆さま方の決断も、重要なフアクターだと確信をしています。

**質問** 「町報きよなん」声のバトンタッチで、行政に



緒方 猛 議員

を、町長は、普通の建設残土でも厳しい内容の残土条例がある。そういう立場だから、私は町長は反対だなという理解をした。私の理解について、それでいいのか、それは違うのか。



埋め立て計画地

## 「行政に望むこと」の意見生かせ 「元法務局」施設放置善処を

望むことの意見を聞いている。これは重要で活性化にも通じ良いことだが、その目的と行政サイドをどう集約・分析し政策につなげているのか。

**町長** 平成14年から町民の紹介目的で始めましたが今



老朽化の進んだ旧勝山幼稚園舎



旧法務局跡

まで要望の集約・分析をしたことはありません。政策への反映については、各担当が事務事業の参考としています。

**質問** 行政への貴重な提案要素を持つているが、受ける行政サイドが仕事のサイクルを回していない。行政への要望のガス抜き程度にしか感じない。必要に応じ回答もすべきだ。登場者の地区別偏りも大きい。  
**町長** 今後要望事項の集約や分析を行い、行政運営に

生かしたいと考えます。また、行政に関わる要望事項はその方に適宜回答を行い、連載継続の場合は地域の偏りにも配慮します。

**質問** 勝山駅前「元法務局事務所」跡の施設は、有効利用がされていると思えない。どのような経緯で町にどのような費用が発生しているのか。  
**町長** 法務局として18年間に43万4千円で町が買い取りました。その後、14年度

まで医師の官舎として使用しましたが、現在は使用していません。費用は、地代が年約60万円、24年度まで合計約690万円支払っています。

**質問** 行政に望むことで税金の無駄遣いをしないでという意見がある。厄介者の先送りをせず、町長の早急な意思決定が必要だ。今後はこのような仕事のやり方をすべきでない。  
**町長** 地権者の意向等も踏まえ、早急に協議を行い対



鈴木 辰也 議員

**質問** 計画どおりに、平成26年4月に小学校が統合すると、鋸南幼稚園だけになる。安全面を考えると小学校に隣接している方がいいという意見もあった。今までは、保田小学校とインタ

ーホン等でつないで緊急時の対処をしているが、今後はどうするのか。  
**教育課長** 今後は、幼稚園と給食センターをインターホンでつないで安全・連携を図っていきます。

## 旧幼稚園舎は危険 学童保育施設の早期整備を

**質問** 今後、給食センターとどのような連携、訓練を行う計画があるのか。  
**教育課長** 細かい内容については、まだ詰めていないのが現状です。  
**質問** 現在、鋸南幼稚園は

借地で、施設も幼稚園だけになる。町の計画では、幼保一体化の改革による幼稚園の建設は平成27年度に行うとされ、町長は、町財政を考慮したうえで対応していくとの考えだが、計画通りに進むのか。  
**町長** 計画通りに進めるつもりですが、その時の財政状況で判断します。  
**質問** 今の財政状況を見たときに、町長の判断として

応じたいと考えます。  
**質問** 過疎化抑制の方策は、交流人口拡大を図り定住化促進につなげることだというが、現在の道の駅で知恵を出し活動はできないのか。  
保田小跡地に交流施設ができてからなど、悠長な状況ではないはずだと思うが。  
**町長** 現在の道の駅は施設の成り立ちが違いため、定住促進の機能を持たせるのは難しいと思われます。今後は情報発信の遅れを改善し、総合的に検討します。

計画通りに進めそうなのか。  
**町長** 非常に微妙な部分があります。時代の変化をとらえながら、状況を判断し決断します。

このことだが、この園舎は昭和33年に建てられた古い建物である。屋根を瓦から波板に変えたと言うが、災害時に子どもの安全が守られるのか不安が残る。町長はどのように考えているのか。  
**町長** 不安は、確かにある

ということとは否めないと考えます。  
**質問** 小学校が統合した時には、学童保育は古い園舎で行うか、専用の教室を建設するののどちらかしかない。古い園舎では、学童保育を行うことに不安があるが、町長の考えは。

**町長** 十分に検討します。  
**質問** 避難所の運営は、学校・地域・町の連携が取れて初めてスムーズに運営できると考える。話し合う場をつくり、顔の見える関係、支えあえる関係を構築する

ことが大切と考えるが。  
**総務企画課長** そのような体制をつくるため、どういう組織立て、運営形態ができるかを課題として検討します。



小藤田 一幸 議員

## 保田小学校跡地には 高齢者福祉施設を

**町長** 大変参考になりました。近づけるよう努力したいと考えます。

町の総合計画の時点で都市交流施設として整備する計画を立てています。

2月21日、総務委員会協会で突然町長から、平成28年度までに約9億9千万円をかけて保田小学校跡地に直売所を中心とした都市交流施設をつくるという提案があった。店舗や食堂もあるコンサルタンのプランに対して、次の質問をした。

2月21日、総務委員会協会で突然町長から、平成28年度までに約9億9千万円をかけて保田小学校跡地に直売所を中心とした都市交流施設をつくるという提案があった。店舗や食堂もあるコンサルタンのプランに対して、次の質問をした。

が、保田小前を通る車は国交省の調査によると平日約2千台（国道の5分の1）。そのうちの5%（国の統計）が入るとすると100台だが、500人とした根拠は。  
**町長** 長狭街道だけを対象としているわけではなく、国道や館山自動車道からの入込みも考えています。

の年間農業出荷額を7億円程度としているが、JA鋸南支店の年間売上額が約4億3千万円、富楽里が約4億1千万円である。また、7千万円の売上を予想しているが、直売所の利益はその18%で1260万円。人件費や電気・水道代などの運営資金に2〜3千万円かかるので、少なくともこの倍の売上が必要なのでは。

**質問** コンサルタントは町  
**町長** 保田小学校は、



都市交流施設建設計画地

# 特別委員会

## 保田小跡地を都市交流施設に 活用するため 3,729 万円予算化

平成25年度の当初予算は、議員全員で構成する予算審査特別委員会（黒川委員長）を設置して、審査を行い、すべての予算を全員賛成で、可決すべきものと決定した。

### 一般会計は昨年より

### 3.1%減の38億531万円

#### 主な質疑

##### 総務企画課

**質問** まちづくり支援事業で補助を受けた団体は、手弁当で事業を行なっている。再度支援する考えは。また、使いやすい補助なのか。  
**総務企画課長** 組織が自立するための支援であり、2年補助を3年補助に伸ばす方向で検討しています。  
**質問** 循環バス調査検討委託とは、公共交通全体を検討するものなのか。また、バスの耐用年数があと4年と聞き、運行形態を見直す必要があると考えるが。  
**企画財政室長** 効率的なバス運行について検討するも



老人センター旧源泉

ので、平成25年度は1年をかけて委託をする見込みです。  
**要望** 小学校も統合するので、スクールバスとの混乗など、より効率的な運行を検討してほしい。

**質問** 現状での都市交流施設のコンサルプランが町長

の言うランドマークプランなのか。

**企画財政室長** 基本調査段階でのプランです。

**質問** 業務の管理委託についての考え方は。

**企画財政室長** 運営形態は今後検討しますが、仮に運営者がいないとすれば町が実施することとなります。

##### 税務住民課

**質問** 差押えにより生活保護なることはあるのか。

**税務住民課長** 生活に支障をきたす差押えは行なっていません。差押えにより生活保護へ移行することはないと考えます。

##### 保健福祉課

**質問** 温泉掘削について、現在は水道水を温めているが、温泉成分によって、ポイラーに影響することがあ

るのか。  
**保健福祉課長** ポイラーに負担はないと考えますが、温泉が出た際に確認していきます。

**質問** 緊急通報装置について、設置内容や月々の個人負担額が選択できるようにならないか。

**保健福祉課長** 設置は公費、使用料は個人で支払う事を前提としています。導入の段階で精査していきます。

##### 地域振興課関係

**質問** 青年就農給付金150万円は、鋸南町では初めての事業か。

**地域振興課長** 45歳未満の就農者を支援する事業で、国が進めています。空き家を借り、就農したいという方への支援で、鋸南町では初めての事業です。

**質問** 町営住宅周辺の松を伐倒したが、その後の植栽はどうなっているか。  
**地域振興課長** 竜島区の所有地であり、要望も出てお



# 予算審査

## 勝山小管理特別教室棟 平成25年度完成目指す

平成25年度当初予算

一般会計	38億 531万 2千円
国民健康保険特別会計	12億 4,840万 3千円
後期高齢者医療特別会計	1億 539万 3千円
介護保険特別会計	10億 9,929万 8千円

らず要請もしていません。  
**要望** 地元の区と協議して、指導や対応をしてほしい。  
**質問** 重機運搬車両の購入は、利用頻度から考えるとリース対応で十分ではないのか。  
**地域整備室長** 今まで運搬車がなかったため、重機の利用頻度は低い状態でした。今後は運搬車を購入し積極的に利用したいと考えます。  
**質問** 漁民アパートは老朽化している。入居者に早期

に説明し、対応を考えてもらうべきではないか。  
**地域整備室長** 漁民アパートの耐震診断を行った際、将来的に修理ができない事を説明しています。  
**要望** 年数を提示し、説明できるよう、計画を考えていく必要があると思う。

### 教育委員会

**質問** 資料館は、入口デザインが地味だと思う。  
**教育課長** 鉢やポットに花を植え、明るい雰囲気を作るなど改善に努めています。  
**質問** 資料館の入館者数について、PRや道の駅との連携の今後の方針は。  
**生涯学習室長** 大手旅行会社とクーポン契約を予定しています。

また、道の駅や宿泊施設等にパンフレット等を配付し、旅行会社への周知や、ネットでの情報提供にも力を入れていきます。  
**質問** 図書館司書は資格が必要な職種だが、142万円で雇用できるのか。  
**教育課長** 教員を退職する方で資格を有する方がおり、前向きな返事をもらっています。

### 介護保険特別会計

**質問** 給付費が増えているとのことだが、基金の見込みはどうか。  
**保健福祉課長** 当初予算では2111万円程取り崩します。老人保健施設を利用する方が多いことなどから施設給付費が増額となることと考えられますが、決算額を見ながら3年目の基金の見込みを考えます。

### 水道事業会計予算

**質問** 赤水の発生に対し損害賠償請求があるのではと危惧する。抜本的な対策が予定されているのか。  
**水道副課長** 配水管の洗浄を検討しています。  
**質問** 高料金対策として繰出す余裕があるか。  
**総務企画課長** 水道会計、一般会計の状況による判断になります。繰出し金は、公債費負担比率を踏まえたうえでの対応になります。



松枯れにより切り倒された松

# 佐久間ダム湖の桜だより

寒かった冬も終わり、待ちに待った春の訪れとともに、佐久間ダム湖畔に今年も美しい桜が咲き乱れる季節がやってきました。

宝くじの助成や、有志寄贈の桜の植栽から始まった取り組みも、桜の種類が増え、河津桜は佐久間ダム周辺に2千本、ソメイヨシノや八重桜などは1千本にもなります。

植栽された桜は鋸南町全体では、今やその本数は1万5千本になり、河津桜は原木を分けてもらった伊豆・河津町よりも多いと言われるようになっていきます。これを管理しているのが、町や鋸南日本花の会・佐久間ダム湖観光組合などのメンバーの方々です。

2月には茎や枝に奇形ができる「てんぐ巢病」防除

のための枝切りや、6月や10月には大勢の地域の人々の協力による「お草刈り」などを行っています。それらにより誰でも安全に、自然の中で一年中花木が楽しめる、里山の魅力を存分に感じられるエリアになっています。

今や佐久間ダム湖は、桜を中心とした南房総の一大観光地になっています。しかし、この場所が他の観光地へ行くまでの通過地点や、時間調整の場

所だけにはならないように、今後とも地域活性化の対策を考えていく必要があります。



桜咲く佐久間ダム公園

## 議会の日誌

- 2月15日(金) 産業常任委員会協議会
- 2月21日(木) 総務常任委員会協議会
- 2月22日(金) 議員全員協議会
- 2月22日(金) 勝山小学校建設等特別委員会協議会
- 2月22日(金) 議員総会

- 2月26日(火) 議員全員協議会
- 2月27日(水) 議会運営委員会
- 3月5日(火) 第1回議会定例会
- 3月14日(木) 小学校跡地等利用検討特別委員会協議会
- 3月22日(金) 議会広報特別委員会
- 3月28日(木)

## 編集後記

日本の超少子高齢化は着実に進み、2030年には人口の3分の1が65歳以上になるといわれている。しかし、鋸南町はすでに2010年(平成22年)の国勢調査で37・2%の高齢化率(県下3位)となっており、7年後には半数が高齢者で占められると予想されている。65歳以上の独居老人数も、790世帯、5世帯に1世帯という割合であり、この8年間で1.9倍も増加し、孤独死も生まれている。町の方針は、施設の運営は民間に委ね、介護予防の推進、あるいは施設介護から在宅への支援などを行っていくべきだとしている。しかし、高齢化が進むと体が動かなくなったり、中には認知症の症状も出てくる。その時入る施設がなければ、これほど悲しい現実はない。

小藤田